



埼玉いのちの電話

ひとりぼっちで悩まずに…

発行人：川端 純夫 編集：広報委員会
 発行所：社会福祉法人 埼玉いのちの電話
 〒337-8692 大宮郵便局私書箱第 29 号
 電話：048-645-4322
 FAX：048-645-4355
<http://www.saitama-id.or.jp/index.html>

相談電話

048-645-4343 (24時間 365日)
048-640-6400 こどもライン
 (金・土 15:00~21:30 18歳まで)
0120-738-556 (毎月10日 24時間)
 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」

インターネット相談

埼玉いのちの電話

検索



特集

埼玉いのちの電話

こどもライン 15周年に寄せて

この広報誌は、赤い羽共同募金の助成を受けて発行しています。



27期生

電話ボランティア募集

応募資格 25歳以上の男女 (2016.4.1 現在)
 お問い合わせ 埼玉いのちの電話 事務局
 TEL 048-645-4322 (月~土 10:00~17:00)

27期生 電話ボランティア募集説明会

- 11月29日(日)14:00~15:30 大宮ソニック 市民ホール402
- 12月6日(日)14:00~15:30 所沢ミュージズ 会議室2
- 12月12日(土)14:00~15:30 クラッセ川越 多目的ホール
- 1月9日(土)10:00~11:30 大宮ソニック 市民ホール404

予約は必要ありません
 毎回「聴くこと」についてのミニ講義があります

12月18日(金) 公開講演会終了後(21時頃)、簡単に
募集説明会を行います

埼玉いのちの電話こどもライン 15周年に寄せて

埼玉いのちの電話研修委員 豊澤義紀

▶▶▶ はじめに

こどもラインが2000年3月に開設されて15年が経ちました。こどもラインは18歳までを対象として、金曜日、土曜日の15時から21時30分まで電話を受けています。埼玉いのちの電話では、こどもラインとして独自に研修を行っています。私は、埼玉いのちの電話3期生の養成研修からかかわらせていただいています。児童相談所に勤めていたこともあり、現在こどもラインの研修に携わらせていただいています。今回こどもライン15年に寄せて、相談員の皆さんと研修をしてきた中で、こどもラインにかかる電話とそれに臨む相談員の取り組んでいる意識を一部紹介しながら、子どもの置かれた状況と併せて私が感じていることをお話ししたいと思います。

▶▶▶ 開設時の子どもの置かれた状況と相談員たちの危機感

こどもラインを開始した2000年頃の子どもを取り巻く状況は、この年児童虐待防止法が施行され、児童虐待の通告件数はその後毎年過去最高の件数が報告されていく。教育においても小中学校の不登校件数も13万件を超えている。家庭や学校に居場所がないことは子どもの成長を阻害し、虐待や不登校は社会全体の問題になっている。

一方いのちの電話に掛けられる子ども(18歳以下)からの電話は、逆に少なくなっていた。それはいのちの電話にかけても、電話がつながらなくなってきていたことが影響しているのではと考えた末に、子どもたちのための電話を1本開いた、それが2000年3月からのこどもラインの始まりと聞く。このように子どもたちが相談したいときに掛けてこられるように電話の前に座っていようと始まった。この開設の意思にすごさを感じた。この年こどもラインにかかる電話は396件であった。その後もこどもラインの件数は700件~1100件の間を推移している。その間県内小中学校向けに数回にわたりカードを作成し、教育委員会に依頼して配布をしている。県内すべての小中学生(小学生は高学年)に配布するという大規模な広報活動をしている。配布を行った年は相談件数が1000件を超えており、効果



は認められる。困っている子ども、悩んでいる子ども、相談できる人がいない子どもたちがこどもラインを知り、悩みを打ち明けるチャンスになることを期待したこどもラインの相談員たちの努力、それを支える埼玉いのちの電話の意思を感じた。

▶▶▶ 今子どもたちの置かれた現実

家庭は、子どもにとって安全基地であり、その中は外からは見えにくい。その家庭の中で児童虐待の通告件数は2000年度約1万7千件だったが、2013年度は約7万4千件と4倍を超えている。親からの身体的、心理的、性的虐待、ネグレクトにより命を奪われ、心に大きな傷を負い、成長を阻害し、深刻な問題を抱えることになる。しかし子どもたちは自らSOSを出そうとしない。子どもたちは、暴力を受けることは自分が悪いからだと思いがちであり、外に助けを求めると、親を裏切ることになると思う。それでも抜け出したい気持ち、自分は間違っていないと言って欲しい気持ちはある。

こういう相反する心理が同時に存在することは、被虐待児だけではない。

この15年「児童虐待防止法」のほか「いじめ防止対策基本法」「子どもの貧困対策推進法」「発達障害者支援法」子どもにかかわる法律が整備された。社会全体で虐待、いじめ、貧困から子どもの権利を守り、発達を支援することになった。われわれは、個人、家族、学校、近隣、社会として、子どもたちの成長を支援していかなくてはならない。それだけ、子どもたちの置かれた状況は深刻であると言える。

》》》 こどもラインにかかってきた電話と 相談員の気持ち

現在のこどもラインはどうか、研修の中で必ず出る話がある。ほとんどかかってこない当番の日がある、こどもラインの対象者ではないと思われる人からかかってくることがある、性の話に終始することもある。それでも自分たちを必要としている子どもたちがいるからここに座っているという相談員たちの使命感と自負心がある。

いじめや虐待を受けている深刻な内容の電話がかかる。その中で、子どもたちは孤独であり、叫んでも助けてくれる人はいないと思い込んでいる。相談員が逃げなさい、その手立てはあると伝えても、容易には助けを求めてはこない。むしろ話をしたから気持ちが楽になりましたと言ってそこで終わるという例も多い。また思春期青年期特有の自分は何者か悩み、どうしていいかわからないと混乱し、生きていても楽しいことなんかはない、死にたいと訴えることがある。新しい仲間、環境になじめない、誰かと話をしたいとかけてきて自分の思いだけを語ることが出来ればそこで終わることがある。これでいいのか、何もしてあげられなかったと自分を責めることもある。

それでも「何かを話したくて、電話をしてくる子どもたち…受けた大人は助けてあげたいとつい思ってしま…、でも、まず今の気持ちを聴いて！！」という相談員の声がある。

またある相談員は「この電話だから話せますと子どもが言います。でも身近にあなたの話を聴いて見守ってくれる人がいたらいいなと思う。私たちは、そのつなぎ役かな」と言う。

電話相談が、即問題の解決になるわけではないが、電話をかけてきたという主体的な行為を尊重して、子どもたちの話に耳を傾け、悩みを聴く。相談員たちは、気

になる電話を皆で共有し、時には数年にわたり見守りをしている。研修の機会に対応を検討することもある。話を聴くことで、子どもたちがホッとし、一日を安心して過ごすことが出来るようになる。また冷静に考えるゆとりができ、一歩前に歩き出すきっかけになってほしい、また身近に相談できる大人を見つけられたらよいと、相談員たちは願っている。

》》》 これからのこどもライン

最近の交友の特徴はフェイスツーフェイスのコミュニケーションよりも、メールやラインになっているように見えます。使い方を知ったツールは表現もしやすい、昨年度から始まったネット相談は子どもたちにとって身近な相談先になると思います。

子どもたちがかけたらつながる電話が必要と始まった電話は、今後も継続していきたいと相談員たちは望んでおり、私もそう考えています。

私は、相談員が子どもたちの話をしっかり聴いて、彼らが何を話したいのかを理解するように心がけるといふ姿勢を続けてもらいたいと思っています。子どもだから単純ということはありません、深い心の傷を負い、アンビバレントな複雑な感情を持っていることも多いです。

助けてほしい気持ちを伝えたり、助けとなる手立てを提案しても、子どもたちがどういう反応をするか確認が大事です。大人にとって当然と思う提案も、子どもたちを困惑させることもあり得ます。子どもたちの方がこちらに合わせた反応をすることもあります。

これは電話を聴く基本です、こどもラインはより基本に忠実であるべきと思っています。



マルチパーパスな3列ミニバン
埼玉トヨペットから
シエンタ誕生!

PHOTO HYBRID X (2.0L) 2WD
6速オートマチック CVT (8速)

埼玉トヨペット
お客さま相談室 (定休日/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日))
お車のことならなんでもお気軽に ☎ 0120-319231

本社 さいたま市中央区上落合2-1
http://www.saitama-toyopet.co.jp



熊 谷
八木橋

〒360-8502
熊谷市仲町74番地
☎048(523)1111
www.yagihashi.co.jp

原宏氏を悼む

埼玉いのちの電話後援会の会長を15年間にわたって務められ、昨年より名誉会長としてご支援を続けてくださっていた原宏氏が、4月9日89歳の生涯に幕を閉じられました。

「無私の心で埼玉に貢献した“宝”が天へ旅立った。非常に悲しく多大な損失。長年にわたり業界の発展に貢献いただき心からお礼を申し上げたい。」と埼玉新聞は大きく報じました。

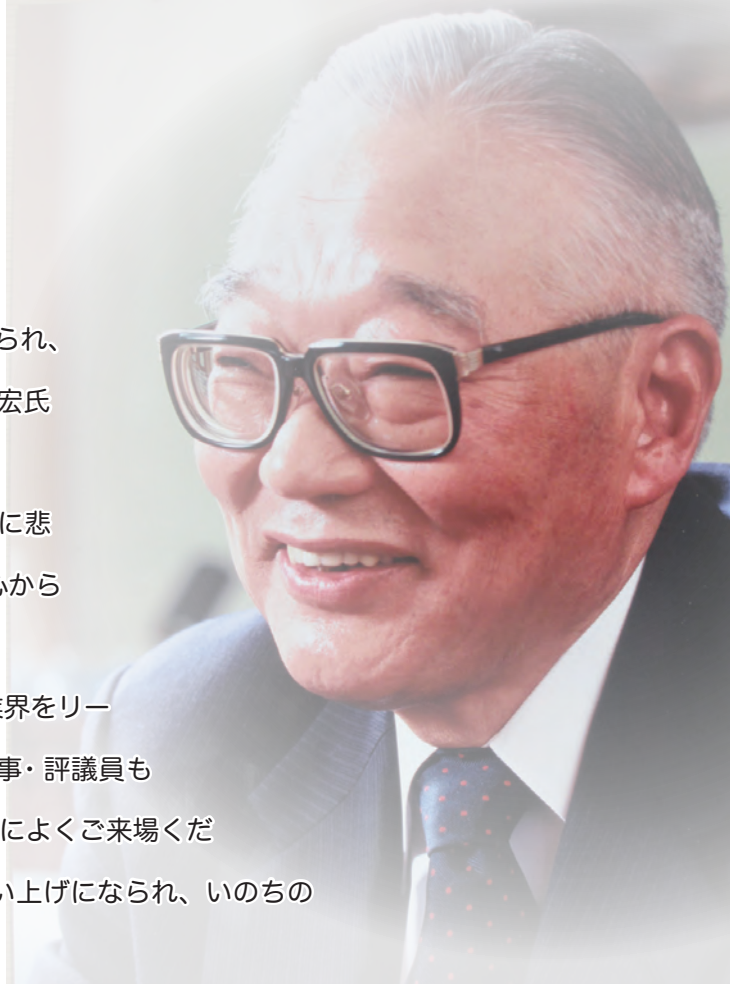
武州ガス(株)の会長として経営者協会やガス業界、県の産業界をリードされるご多忙な中、社会福祉法人埼玉いのちの電話の理事・評議員も務められ、公開講演会や毎年3月に開催のチャリティ映画会によくご来場くださいました。バザーでは相談員手づくりのクッキーをお買い上げになられ、いのちの電話の活動に深いご理解を示して下さいました。

渋沢栄一の精神を受け継ぎ、人生を「世のため人のため」に捧げて社会貢献活動に力を注いでおられました。そのような中、埼玉いのちの電話の財政基盤の確立にもご尽力くださいました。

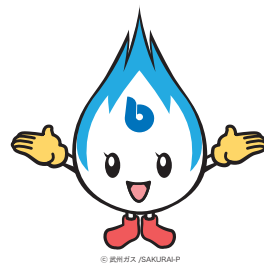
いつも笑顔の優しいまなざしで、相談員の集まりに参加されると、「24時間365日電話相談を続けている相談員の皆さんの働きには、頭が下がります」とご挨拶下さったのは大きな励みでした。

生前の多大なご支援に深く感謝申し上げ、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

原宏さま、埼玉いのちの電話のためのご支援、本当に有難うございました。



川越市田町3-2-12
TEL (049) 241-9000



- 共に生き、共に育つ -

高度で信頼性の高い情報サービスを提供し、顧客第一主義に徹します。
人皆それぞれに必ず長所があることを認め合います。
互いの弱さをカバーしあい共生し共に育ちます。

NCS 埼玉で創業45年、お客様と共に
ノグチコンピュータサービス株式会社
埼玉県さいたま市中央区下落合 1085-15
048(824)1099 (代表) <http://www.ncsnet.jp>



医療法人 社団 群羊会
<http://minamifukuin.org>

きこがきみられる診療 大切にしたいひびきとひとりを
耳鼻咽喉科 内科・小児科
福音診療所 南福音診療所
TEL048(592)2862 TEL048(591)7191



埼玉いのちの電話では、24時間365日受信している相談電話の他、「こどもライン」（金曜・土曜15:00～21:30）を設けています。また、全国のセンターと協力して、フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」（毎月10日24時間）を実施しています。

2014年（1月～12月）に、以上3つの電話相談で受信した総件数は30,836件で、2年連続で3万件を超えました。

その内容は、グラフ①が示すように、心の病を抱えている人からの電話「精神」と、生き方や人生の悩み・孤独などを訴える電話「人生」が多く、次いで「家族」や「対人」に関する相談の順になっています。この傾向は、ここ数年変わりません。

「精神」に関わる相談が全体の4分の1になっています。心の病を語り、自ら病名を伝えてかけてくる人が増えています。既に医療機関に通っている人が多く、話をすることで少し落ち着かれることもあります。

年代別の受信件数では、40代からの相談が一番多くなっています。ここ数年40代50代60代からの相談が増える傾向にあり、70代以上の人からの相談も増えています。反対に、10代20代からの相談は減少しています。

また、「死にたい」「消えてしまいたい」など自殺について考えていたり、自殺を予告したり、行動を起こしているなどの自殺傾向のある電話は4,617件で、全受信件数の15.0%です。グラフ②が示すように、2013年と比較すると減少しました。男女別で見ると、女性からの自殺傾向の電話が大変多くなっています。

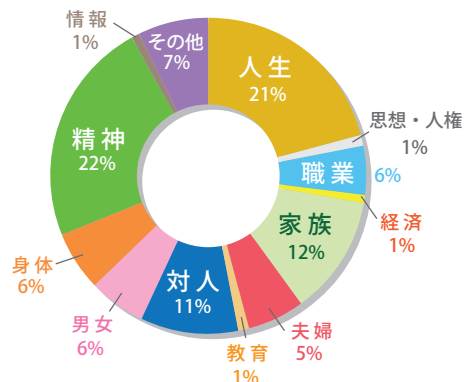
2014年5月より、埼玉いのちの電話ではインターネットによるメール相談を開始しました。メール相談の返信数は8ヶ月間で474件あり、男性が139件 女性が335件で、女性が全体の約70%を占めています。

年代別にみると（グラフ③）、20代が161件で34%と多くなっていて、10代から30代で全体の73%を占めています。さらに自殺傾向のある相談は43.7%と非常に高い割合になっています。これは電話相談の15.0%と比べかなり高い数字といえます。

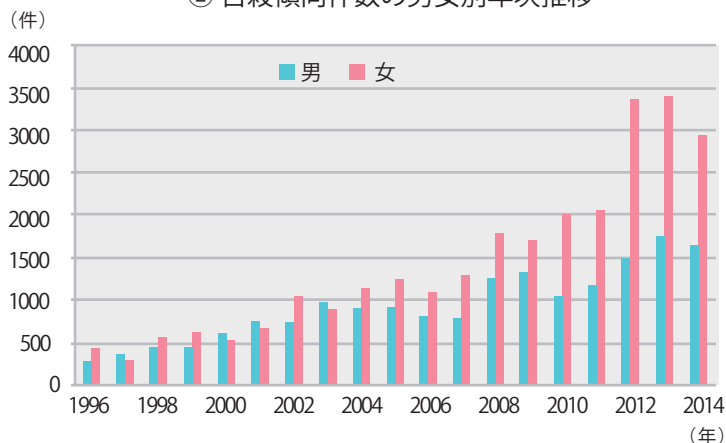
メールを生活の中でごく当たり前に使っている10代20代の若者や、周りとの関わりが持ちにくかったり電話が聞き取りにくかったりする人からもメールが送られてきます。今後、メール相談は電話相談と共に、相談手段のひとつとして多くの方々に利用されていくことと思います。

それぞれの方が危機の時にかけて下さる大切な相談電話やメールの相談が1本でも多くつながり、かけて良かった、メールして良かったと少しでも思ってもらえるようにと願っています。

① 内容別件数の割合



② 自殺傾向件数の男女別年次推移



③ 年代別男女別受信件数（ネット相談）

